

本日も **樹楽日和**



樹楽『団らの家』大泉学園  
管理者 大平 百合子

樹楽でのお仕事は、私にとって介護に関してだけでなく社会人としても人生の先輩から多くを学べる素敵な場所です。なにせ大泉学園の利用者様は元気いっぱい！家事のお手伝いから、新しくいらした利用者様の声かけまで率先してやってくれるわけですから、スタッフも負けじと働いております(笑)

人生の先輩である利用者様は、私たちスタッフにとって、ちょっと年の離れた「お友だち」でもあります。以前まで、私ば「介護」をするための「介助」と考えていました。しかし利用者様と接する中で、本当に必要なのは「利用者様と真剣に向き合うこと」だと考えるようになりました。利用者様と大声で笑ったり、恋愛や人生相談をさせて頂いたり、時にはお互い真剣すぎて泣きながらケンカもしたり…。それを見ていた他の利用者様に慰めて頂いたりすることも(笑)！そんなことを繰り返しているうちに、いつのまにか利用者様はみんな「お友だち」になっています。そして“友だちには「介助」ではなく「お手伝い」が必要”ということも利用者様とのふれあいの中で教えて頂いています。今後も樹楽で大好きな「お友だち」との学びの場を大切に、もっとたくさん笑顔を増やしていきたいです。

きららかに楽しく、きららかにマイペースで、きららかに一步はじめましょ。

**樹楽通信**

平成 23年 8月1日  
《第7樹》

《2011年 9月開所予定の樹楽》



**樹楽『団らの家』赤羽**  
〒115-0045  
東京都北区赤羽 2-37-2 Win KIDOURA VI 1F  
TEL&FAX. 03-6323-5295  
■ 赤羽駅・赤羽岩淵駅より徒歩約8分

【樹楽】の運営方針

1. 利用者様を第一と考え、常に『快適で満足していただける』空間を提供いたします。
2. 『利用者様とご家族の声』を大切に、常に『要望にお応えできる』サービスを提供いたします。
3. 『利用者様の気持ちを癒し』常に楽しい心持でお帰りいただけるよう鋭意努力いたします。

【樹】とは大樹を表し、それは「安心感」と「家族」を意味します。

樹楽では「家庭的なサービス」提供を目指し、利用者様に「ご家族の家」が「友人の家」を訪れたようなお気持ちで過ごしていただくことを理想としています。

【楽】とは楽しい心持で過ごして、お帰りいただくことを目指しています。

楽しいだけでなく「気持ちを癒し」快適に過ごしていただくことを理想としています。

施設見学は随時受付けております。ご希望の方は各樹楽へお電話ください。

- |  |  |
|--|--|
| □ 樹楽『団らの家』香里園<br>〒572-0007 大阪府寝屋川市美井町3-1・・・072-833-6060                  | □ 樹楽『団らの家』門真東<br>〒571-0002 大阪府門真市岸和田3-9-25・・・072-885-8800      |
| □ 樹楽『団らの家』大泉学園<br>〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町8-1-20・・・03-5935-6262             | □ 樹楽『団らの家』若久通り<br>〒815-0042 福岡県福岡市南区若久4丁目8-15・・・092-561-8828   |
| □ 樹楽『団らの家』杉並宮前<br>〒168-0081 東京都杉並区宮前3-5-3・・・03-5930-1743                 | □ 樹楽『団らの家』小垣江<br>〒448-0813 愛知県刈谷市小垣江町上38番・・・0566-78-3927       |
| □ 樹楽『団らの家』私市<br>〒576-0033 大阪府交野市私市6-30-9・・・072-892-7559                  | □ 樹楽『団らの家』本郷<br>〒465-0024 愛知県名古屋市中東区本郷1丁目-248-1・・・052-768-6213 |
| □ 樹楽『団らの家』千代ヶ丘<br>〒215-0005 神奈川県川崎市麻生区千代ヶ丘9-8-2・・・044-455-5441           | □ 樹楽『団らの家』ひの<br>〒858-0923 長崎県佐世保市日野町1775番地6・・・0956-88-7376     |
| □ 樹楽『団らの家』西の宮<br>〒320-0064 栃木県宇都宮市西の宮1丁目16番3号・・・028-680-5189             | □ 樹楽『団らの家』白石<br>〒861-5264 熊本県熊本市白石町698番地・・・096-223-5340        |
| □ 樹楽『1日3時間のフィットネス』門真<br>〒571-0041 大阪府門真市柳町12-22 KIRA古川橋1F・・・06-6904-7272 |  |



写真: 樹楽『団らの家』大泉学園

コラム あいえんきえん  
**愛縁樹縁**



株式会社 アクロス  
代表取締役 原田 健一

お年寄りはいくら強すぎますよね?!  
弱音をはいてくれないし、言い訳してくれません。じっと我慢されます。我儘を言ってくれません。少しだけ残念です。家族さんにも心を閉ざしておられることが多いようです。何故ですかね?その原因が負目だとしたら悲しいですね。

人は誰でも自分に興味を持って欲しいものです。「私のことはほっといて」と言いながら、自分に視線が来るような行動や発言をついてしまうものです。大きな声で話し出す。苦渋の表情をする。ふと動き出す。何らかの表現があるというところに何らかの意思表示があるのだと思います。そこをくみ取ることが出来るか否かが利用者さんとの信頼関係を作る境目になります。なだめたり、諭したりするのはなく、利用者の真意を押し量ることが大切です。全ては心の奥底の表れです。

サービス業でもお客様のニーズに応えることが命題です。楽しい心持で過ぎて頂き、お帰りいただく事に存在価値があるのですが、我々は、楽しさや寛ぎを提供する事に止まることは出来ません。本来の個人として保証されている心の自由を解き放ち、我々と何ら変ることなく平等に権利主張をして頂き、自分自身の存在の正しさ(価値)を認識していただくことだと思います。一言では表しにくいですが、敢えて表すなら利用者さんを「敬う」ということです。利用者さんを「敬う」サービスの提供が私たちの存在価値であると思います。私たちの普段の判断や言行は「敬い」から発せられているか?敬いがあるなら、家族さんが帰宅されていない玄関先に、幾ら利用者さんが「もういいよ」と仰ってくださっても置き去りには出来ませんし、利用者さんに対する接し方に違いが生じたりすることは無いと思います。

…とは言うものの、現場は常に大混乱です。お一人おひとりを十二分に気に掛けることは難しいと思います。しかし、敬う心眼で接せる事により、利用者さんに変化が表れます。自分を認め敬ってくれる人に悪意を抱く人はいません。我々を認めてくださり、自分の気持ちを伝えてくださるようになります。なおざりでない本心を明かして下さいます。そこからが本当の介護の始まりだと思います。



樹楽に関する総合問い合わせ **0120-03-1400**

株式会社 アクロス  
社団法人 日本フランチャイズチェーン協会 正会員  
社団法人 大阪府介護保険経営者連絡協議会 正会員  
〒564-0053 大阪府吹田市江の木町17-1 コンパノビル 8F TEL. 06-8339-8400 FAX 06-8339-5678

# 夏真っ盛り!! 『笑顔』と『元気』で暑さを吹っ飛ばそう!!



皆でクッキー作り♪  
大泉学園



Oh!マジックショー開催  
香里園



えいやあー!スイカ割♪  
小垣江



願いごとはなあーに?  
千代ヶ丘



みんなで集合写真です♪  
若久通り



むかへし、昔の紙芝居♪  
私市



v(---)vびーすびーすv(---)v  
千代ヶ丘



大きなケーキ!お誕生日おめでとう  
私市



ダンス大会!今でも体が覚えているわ  
門真



作品「本末転倒」会心の出来!!!!  
西の宮



おいそ〜な赤〜いスイカ  
小垣江



七ツカラオケ大会!何歌う?  
門真



熊本港で…ハイ!チーズ♪  
白石



タイタニック!  
門真東



夏祭だ!金魚すくいだ!  
香里園



マジックショーで驚きの連続!!  
門真東



心も身体も元気にいこう!  
大泉学園



夫妻で仲良くおやつ(\*^o^)(^o^)  
西の宮



博多の夏といえば祇園山笠  
若久通り



(---)一旦”ここで、ちょっと一服  
白石

東京:荒川河川敷《足立の花火大会》

夏は暑いけど楽しい季節。樹樂でオリジナルうちわを作成してみたり、イベントでの記念写真を使って暑中見舞いや残暑見舞いのお便りを出してみましょう。

## ◆ 8月の行事 ◆ 葉月 (はづき)

旧暦では落葉が始まる秋の訪れの頃。木の葉が落ちる「葉落月(はおちづき)」初雁が来る「初来(はつき)」などが変化したといわれます。

8月の季語: 残暑/晩夏/秋暑/新涼/立秋  
・残暑の候・晩夏の季節・夏の盛りも過ぎ など  
季節の歳時記より

## 暑中見舞い 立秋の前日までに出す

暑中とは、二十四節気の中の「大暑」にあたる期間のことで、7月20日ごろから8月8日ごろの立秋の前日までをさします。なので、暑中見舞いもこの間に先方に着くように出します。その期間が過ぎたら「残暑見舞い」として出すのが正式です。

## お盆 先祖の霊を迎えて供養

本来お盆は7月15日を中心として行われる先祖供養の仏教行事ですが、ここ最近では月遅れの8月15日に行われるところも増えているようです。お盆は、仏教の「盂蘭盆会(うらぼんえ)」を略したもので、語源は梵語の「ウランバナ」で地獄の責め苦から救うという意味があります。餓鬼道に堕ちて苦しんでいる弟子の母を、お釈迦様供養して救うことができたという故事が始まりとされています。盆迎えの朝は盆棚を作り、季節の野菜や果物、水、白玉団子、そうめんなどを供え、ご先祖の乗り物になる、きゅうりやナスに割り箸で足をつけて牛や馬の形にした物を並べます。



↑香里園のオリジナルうちわ♪